



2021年
8月4日
No.A21-04

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2021年7月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップ・ミーティング

・7月2日(金)、上村 司 アラブ地域担当大使「いま中東で起きている事」(於:オークラ東京)



<要旨>

講師より、現在の中東は従来型の国家間覇権ゲームが展開されているとして、イラン、サウジアラビア、トルコ、イスラエル、エジプトの5大国の内外政、米・露・中という域外大国の関与について説明がなされた。

(2) 中東情勢分析発表会

・7月5日(月)、研究員 青木 健太・高尾 賢一郎「バイデン政権の対中東政策と安全保障への影響」(Zoom形式)

<要旨>

バイデン政権による駐留米軍完全撤退の決定を受けて、流動性を増すアフガニスタン情勢について、特にターリバーン指導部の動向に着目しつつ、今後ありうべき展開を検討した。質

疑では、軍閥の活動や犯行声明未発出の攻撃事件の背景などについての質問が出た。



<要旨>

米軍撤退が予定されるイラク、バイデン政権が戦争終結を掲げるイエメンの情勢をはじめ、過激主義組織の近年の動向を、同政権誕生による影響も含めて検討した。質疑では、イエメン紛争解決の見通しやモザンビークの過激主義組織の活動などについての質問が出た。



(3) 中東情勢分析：駐日中東大使に聞く
 ・7月2日、「中東情勢分析：駐日中東大使に聞く」(第7回、シハブ・アフメド・モハメド・アルファヒーム駐日アラブ首長国連邦大使閣下)を発行いたしました。本年度は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大によって、対面での講演会実施が困難な状況が続いています。そこで中東諸国の大使に、書面インタビューの形式で各国の内政の状況についてお答えいただくこととなりました。是非お手に取ってご覧ください。

※会員の方は無料でご覧いただけます。非会員の方もご購入いただくことが可能です(税込み1100円)。詳細はホームページをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/142.html>)

2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

- ・2021年7月号(2021年8月4日付)
- 1. イラン：ライシー次期政権が近隣外交重視姿勢を示す
- 2. チュニジア：ナフダ党を取り巻く政治的緊張と地域情勢
- 3. レバノン：ハリリー組閣断念、ミーカーティ元首相が組閣へ
- 4. トルコ：米国の「人身取引報告書」に初めてトルコが掲載
- 5. アフガニスタン：ロシア・中央アジア諸国が治安情勢悪化を警戒
- 6. イラク：「過去最大規模」のCOVID-19感染拡大に突入

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) 中東かわら版の発行

No.36「アフガニスタン：ターリバーンが民間外

- 国人・外交団・慈善事業団体に脅威を与えない方針を表明」(研究員 青木健太、7月1日)
 No.37「アルジェリア：タブーン大統領が新首相を任命」(研究員 高橋雅英、7月1日)
 No.38「アフガニスタン：米軍撤退開始後の軍事情勢・和平プロセスにおける新たな展開」(研究員 青木健太、7月8日)
 No.39「アルジェリア：ベンアブドゥルラフマーン内閣の任命」(研究員 高橋雅英、7月8日)
 No.40「レバノン：サアド・ハリリー次期首相の辞任と組閣断念」(上席研究員 金谷美紗、7月16日)
 No.41「アフガニスタン：政府高官がターリバーンと直接交渉」(研究員 青木健太、7月19日)
 No.42「チュニジア：大統領が首相解任と議会の一時停止を発表」(研究員 高橋雅英、7月26日)
 No.43「イラン：南西部フーゼスターン州で水不足を受けた抗議デモが発生、各地に拡大」(研究員 青木健太、7月28日)
 No.44「チュニジア：ナフダ党に対する司法調査の開始」(研究員 高橋雅英、7月29日)
 (<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

(3) その他の活動

- ・東京外国語大学が開講する単位認定科目「国際社会をひもとく A/国際社会と地域 1」へ当会研究員がオンライン出講した。
 - ① 「なぜ国民はイスラーム復興を選んだのか：世俗主義国家トルコの成り立ち(2)」(研究員 金子真夕、7月7日)
 - ② 総括(上席研究員 金谷美紗、7月14日)
- ・7月6日(火)、外部講演会、上席研究員 金谷美紗「中東和平の現状と展望」(オンライン)
 *JICA へのブリーフィングのため出講した。

3. その他（要人往来）

- 22日、菅首相夫妻は訪日中のジル・バイデン米国大統領夫人と会談した。
- 23日、天皇陛下は訪日中のフランスのマクロン大統領、ジル・バイデン米国大統領夫人、ルクセンブルクのアンリ大公、モナコのアルベール2世公ら11カ国12人と面会した。

*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。